

主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

| | | | | | |
|-----------|-------------------------|-------------------|--------------------|-------------|----------|
| ① 基本事項 | 計画コード | 事業名 | 部名 | 建設部 | |
| | 19001 | 都市づくり戦略推進事業 | 課名 | 都市整備課 都市計画G | |
| | 施策の大綱 | 01:快適さを支える生活基盤の向上 | 財務科目 | 会計 | 01:一般会計 |
| | 基本施策 | 01:都市づくりの推進 | | 款 | 08:土木費 |
| | 施策の方向 | 01:計画的な都市づくりの推進 | | 項 | 04:都市計画費 |
| 戦略プロジェクト | 03:「JR亀山駅周辺拠点力向上」プロジェクト | 目 | | 01:都市計画総務費 | |
| 事業予定期間 | R 1 ~ R 9 年度 | 主な根拠法令等 | 都市計画法、亀山市都市マスタープラン | | |

| | | |
|------------|--|--|
| ② 目的・概要 | 対象 | 市民 |
| | 目的 | 市街地拡散や拠点機能の強化など、本市が有する都市形成上の課題に対して積極的に対応するため、都市マスタープランの「都市づくりの戦略方針」に基づく施策を推進し、基本理念である都市の価値と魅力(都市力)の向上を目指す。 |
| 概要 | 都市マスタープランに掲げる「都市づくりの戦略方針」に基づき、土地利用制度の検討やエリアプランの策定を行うとともに、用途地域や都市計画道路の見直しを行う。また、施策検討等に必要な基礎調査を実施する。 | |

| | | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | |
|---------------|-----------|--|---|--|---------|
| ③ 事業の計画・実績 | 年度計画 | <ul style="list-style-type: none"> ○都市計画道路の見直し ・都市計画決定 [(都)国道1号線] ○土地利用制度の検討 ・基本調査、分析 ○用途地域の見直し ・基本調査、分析 | <ul style="list-style-type: none"> ○都市計画道路の見直し ・都市計画決定 [(都)和田太岡寺線] ○土地利用制度の検討 ・検討組織の設置、方針整理 ○エリアプランの検討 ・基本調査、分析 ○道路交通量調査 ・交差点30箇所 | <ul style="list-style-type: none"> ○都市計画道路の見直し ・都市計画決定 [(都)木崎新所線] ○土地利用制度の検討 ・土地利用イメージ及び制度検討 ○エリアプランの検討 ・エリアプランの策定 [亀山駅周辺] ・地域意見の把握 [井田川地域] | |
| | 年度実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○都市計画道路の見直し (都)国道1号線見直しを実施。 都市計画決定(R2.1.21) ○土地利用制度の検討 基本調査、分析を実施。 ○用途地域の見直し 基本調査、分析を実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ○都市計画道路の見直し (都)和田太岡寺線見直しを実施。 都市計画決定(R3年4月28日) ○土地利用制度の検討 検討組織の設置、土地利用制度について検討。 ○エリアプランの検討 基本調査、分析を実施。 ○道路交通量調査 コロナの影響にて令和3年度に繰越。 | <ul style="list-style-type: none"> ○都市計画道路の見直し (都)和田太岡寺線都市計画決定 (都)木崎新所線見直しを実施 (都市計画決定R4予定) ○土地利用制度の検討 土地利用制度について検討 ○エリアプランの検討 地域懇談会、アンケート調査実施 ○道路交通量調査 調査実施、完了 | |
| 事業費 | 計画額 | 事業費 | 6,100千円 | 13,900千円 | 7,900千円 |
| | | 国庫支出金 | | | |
| | | 県支出金 | | | |
| | | 地方債 | | | |
| | | その他 | | | |
| | 予算額 | 事業費 | 5,700千円 | 7,300千円 | 6,195千円 |
| | | 国庫支出金 | | | |
| | | 県支出金 | | | |
| | | 地方債 | | | |
| | | その他 | | | |
| 決算額 | 事業費 ① | 4,818千円 | 7,208千円 | 5,376千円 | |
| | 国庫支出金 | | | | |
| | 県支出金 | | | | |
| | 地方債 | | | | |
| | その他 | | | | |
| 人件費 | 総人件費 ② | 5,494千円 | 6,271千円 | 6,322千円 | |
| | 一般職員 | 5,494千円 | 6,271千円 | 6,322千円 | |
| | 所要人員 | 0.70 | 0.80 | 0.80 | |
| | 会計年度任用職員等 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | |
| 総コスト(①+②) | | 10,312千円 | 13,479千円 | 11,698千円 | |
| 受益者負担率 | | 0.0% | 0.0% | 0.0% | |

| | | | | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | |
|---------|---|----|-----------------------------|-------|-------|-------|-----|
| ④ 指標 | ① | 名称 | 都市計画道路見直し路線数(累計) | 計画値 | 1 | 2 | 3 |
| | | | 都市計画決定を受けた都市計画道路の累計路線数(R1-) | 実績値 | 1 | 1 | 3 |
| | | | | 単位 | 路線 | 路線 | 路線 |
| | ② | 名称 | 検討組織の設置数(累計) | 計画値 | | 1 | 3 |
| | | | 土地利用制度やエリアプランの検討を行う組織の数 | 実績値 | | 1 | 2 |
| | | | | 単位 | | 組織 | 組織 |
| | ③ | 名称 | エリアプランの策定数(累計) | 計画値 | | | 1 |
| | | | | 実績値 | | | 0 |
| | | | | 単位 | | | プラン |

| | | |
|------------|------|---|
| ⑤ 事業の改善 | 前回評価 | 【前回評価の対応方針の概要を記入】 土地利用制度、エリアプラン策定を進めるにあたり、地域課題等に対応した制度、計画とするため、地域住民との合意形成、検討組織での検討を十分にいき、制度、計画を策定する。 |
| | 改善行動 | 【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 地域懇談会を実施し、今後の取組み方針を検討のうえ、検討した方針に基づき検討組織形成、住民アンケート調査を実施した。 |

| | | 評価 | (判定) |
|------------|----|--|-----------------|
| ⑥ 事業の評価 | 活動 | 【計画どおりに実施できたか】 (都)和田太岡寺線の都市計画決定(R3.4.28)を実施。(都)木崎新所線の変更については、住民等の意見を反映させるため、住民説明会を開催、パブリックコメントの実施、関係機関(県)との協議、都市計画審議会への報告を行った。なお、都市計画審議会での審議については、コロナ禍のため開催を延期したことから、都市計画決定はR4年度(R4.5月)の予定。 また、土地利用制度の検討については、調査結果分析、他市事例検討等を実施した。また、エリアプラン策定については、2地区において地域懇談会を開催(5回)し、今後の取組み方針を検討した。その検討方針に基づき、地元説明会、地域アンケート調査を実施した。 | A 計画どおり実施できた |
| | 成果 | 【成果は順調に上がったか】 (都)木崎新所線の都市計画決定については、コロナ禍により延期となったが、概ねの手続きを年度内に進めることができた。 また、エリアプラン策定については、地域懇談会の開催により、今後の方針、スケジュール案を決定することができ、地域アンケート調査結果により、地域住民の意見を集約することができた。 | A 十分な成果を得た |

| | | | |
|--------------|----|---|--|
| ⑦ 今後の対応方針 | 課題 | 【課題は何か】 土地利用制度の検討、エリアプラン策定については、関連する部署、事業が多く、関係機関、他部署等との協議が必要となる。 また、エリアプラン策定については、地域住民の地域の課題に対する意識が低い。 | 次期実施計画への方向性 <input type="checkbox"/> 継続(拡大) <input checked="" type="checkbox"/> 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> 継続(縮小) <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】 |
| | 対応 | 【課題に対し、どのように対応するか】 関係部局との調整を十分に図り、事業を進める。 地域懇談会等により、地域住民の問題意識の向上を図り、地域の実情に合ったプランとしていく。 | |
| | 効果 | 【対応することで、どのような効果が期待できるか】 関係部局との連携、地域住民との問題意識の共有、合意形成により、効果の高い制度、計画を策定し、都市機能誘導区域の魅力向上、居住誘導区域への居住の集約化による、早期の「都市の価値と魅力(都市力)」の向上につなげていく。 | |
| 対応時期 | | 令和4年4月～ | |

| | |
|---------|------------------------------|
| 【1次評価者】 | 建設部 都市整備課 都市計画グループリーダー 黒田 康史 |
| 【最終評価者】 | 建設部 都市整備課長 藤尾 春樹 |

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

| | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|----|----|-----|-----|----|----|----|
| 判定 | 活動 | A | A | A | A | A |
| | 成果 | A | A | A | A | A |

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

| | | |
|----------|-------------|-----------|
| 予算額(事業費) | | 6,195 千円 |
| 内訳 | 令和2年度からの繰越額 | 5,700 千円 |
| | 令和3年度の最終予算額 | 7,300 千円 |
| | 令和4年度への繰越額 | ▲6,805 千円 |